

技能実習生
47都道府県プロフィール（Ⅱ）

愛知県

中谷総理補佐官が外国人技能実習生の工場業務を視察 実習生から「コロナで残業減り困っている」との意見も

2022/5/25

国際人権問題を担当する自民党の中谷元総理補佐官が25日、愛知県豊田市の工場で外国人技能実習生の業務を視察した。

中谷総理補佐官は、豊田市にある自動車のシートカバーを作る工場を訪れ、ベトナムやタイ国籍の実習生らが生地を縫製したり裁断したりする様子を見て回った。

視察の後は意見交換会も開かれ、実習生からは「コロナで残業が減って困っている」などといった意見が出された。

中谷総理補佐官：
「率直な感想を聞かせていただいたが、企業の方もこの（外国人技能実習生の）問題について神経を使ってよくやってくれているなと思った」

中谷総理補佐官は、実習生の意見などを担当者に共有し、今後の政治に活かしたいとしている。



https://www.tokai-tv.com/tokainews/article_20220525_18792

外国人労働者 全力支援 名古屋の人材紹介「クロフネ」

2021/8/31

外国人の人材紹介を手掛ける「KUROFUNET」(クロフネ、名古屋市)が、技能実習生など国内で働く外国人向けの生活支援サービスを強化する。加入手続きや外国人が相談などができるアプリを開発し、サービスを利用する外国人や雇用する企業の利便性を高める。

クロフネは二〇一八年設立で、外国人労働者を企業に紹介する事業を展開。労働者の生活支援サービスでは、保険会社と連携し、けがや病気で働けなくなった場合に最大で総額百二十万円の所得を補償する保険を提供。母国への安い手数料での送金や、会員制交流サイト(SNS)を活用した外国人スタッフによる相談も二十四時間受け付けている。

支援サービスには、技能実習生や特定技能者のベトナム人やフィリピン人を中心に、申請中を含めて六百人が加入。雇用する企業が一人当たり一万六千五百円の年会費を負担し、福利厚生として導入するケースが多いという。相談は査証(ビザ)の更新や仕事の悩みなどが目立ち、多い時は週に六十件ほどが寄せられることもある。



クロフネの取り組みを説明する倉片稜社長＝名古屋市内で

<https://www.job.chunichi.co.jp/news/detail.php?nid=3855&ts=1651955189>

技能実習生の受け入れ先監査で虚偽報告 ...監理団体に処分検討、許可取り消しも

2021/9/23

外国人技能実習生をあっせんする監理団体「アジア共栄事業協同組合」（愛知県一宮市）が受け入れ先の企業の一部について、監査を行わなかったり、虚偽の監査報告書を作成したりしていたことが、関係者への取材でわかった。厚生労働省などは技能実習適正実施・実習生保護法（技能実習法）に基づき、監理団体としての許可を取り消すことも視野に処分を検討している。

同組合を巡っては、関連会社分と合わせて約2億円の所得隠しを名古屋国税局に指摘されていたことが判明。同組合の松岡晴記理事長は取材に「組合が急成長し、受け入れ先の監査が追い付かないこともあった」としている。

関係者によると、同組合は一部企業の監査を実施しなかったほか、虚偽の監査報告書を作成し、審査・監督機関である国の認可法人「外国人技能実習機構」（東京）を通じて国に提出したという。

厚労省などは2019年11月、同組合への立ち入り検査を実施。同機構は20年2月、同組合に対し、虚偽報告などの「改善勧告」を出している。

労働環境改善へ 外国人技能実習生の現場をパトロール

2022/6/1

外国人技能実習生の労働環境の改善につなげようと**労働基準監督署**による工場などのパトロールが愛知県岡崎市で行われた。

職員らはベトナム人の技能実習生2人が働いている現場を見て回り、作業が安全に行われているかを確認。実習生本人に対する聞き取りも行われ、5月から働き始めたブイ・スアン・チンさんは（26）日本語で「仕事は楽しいです」と話し、契約内容について会社から適切な説明があったなどと答えていた。

愛知県内では全国で最も多いおよそ3**万6000人**の**外国人技能実習生**が働いているが、労働基準監督署がおととし県内の637の事業所で調査を行ったところ、**6割以上で違法**な時間外労働や割増賃金の不払いなどの法律違反があった。

今井英一工場長は「労働力として見るだけではなく、一緒に働く仲間として尊重し合うことが大事だと思います」と話した。



<https://www3.nhk.or.jp/tokai-news/20220601/3000022858.html>

介護技能実習生受け入れ 国際パートナーシップセンター 国内初、カンボジア政府認定 本年度中に10～20人目指す

2022/5/31

一般社団法人国際パートナーシップセンター（事務局名古屋市東区矢田1の3の11、鈴木勝久理事長、電話052・721・8383）は5月中旬、カンボジアから介護技能実習生2人を受け入れた。

カンボジア政府認定者として、国内で初めて。

6月にも埼玉県内の介護施設で働く予定。本年度中に10～20人の受け入れを目指す。カンボジアの介護業界を支える人材増加につなげる。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/998fad935226e0ccf874b02dde9090a09fdd6c6f>